

# 亀の井自動車学校・竹田卒の初心者

## 2年連続事故率ゼロ

竹田市植木の「亀の井自動車学校・竹田」(堀昭彦管理者)が2016年と17年、卒業生の初心運転者事故率ゼロを達成した。「2年連続は真内初の記録ではないか」と興奮。同学校は「親身な指導の成果が出た」と分析する。



親身になって教える亀の井自動車学校・竹田のベテラン指導員(右)＝竹田市植木

県警運転免許課によると、県の公安委員会指定自動車教習所は17カ所。資料のある02年以降、同事務率ゼロの教習所は09年と11年に一つずつあったという。17年の17カ所平均は0・88%だった。

公安委員会指定の自動車教習所を卒業した運転免許の取得者が、1年以内に人身事故を起こした割合。1人が複数回起こした場合も、事故者数として計上する。教習水準の高さを判断する材料の一つになる。

5月から通う竹田市が「生涯ゴールド免許を目指す」など誓約書を書き、飯野千春さん(19)は「教え方が優しく詳しい。苦手なS字クランクも克服できた」と笑顔。同学校は1966年に開校。竹田市と豊後大野市を

## 親身な指導、交流会も

中心に約1万6千人が卒業した。2016年は164人、17年が133人。少年などの影響でピーク期の3分の1に減少している。市内の路上教習で3車線以上の進路変更を体験できた。堀管理者は「卒業生は初心を忘れず、いつまでも優しい運転を心掛けてほしい」と願う。

木造一部2階の校舎は開校時のままで、運転シミュレーターは昭和のものを設置する。12台の教習車も1996～2002年式を使用している。施設、設備は最新ではないが、50、60代

渡辺達也副管理者は「少人数だけに1こま50分間でハンドルを握る時間、走行距離が長い。内容が濃い教習ができています」と説明する。アフターフォローにも力を入れる。卒業時に各生徒

(原田宏二)